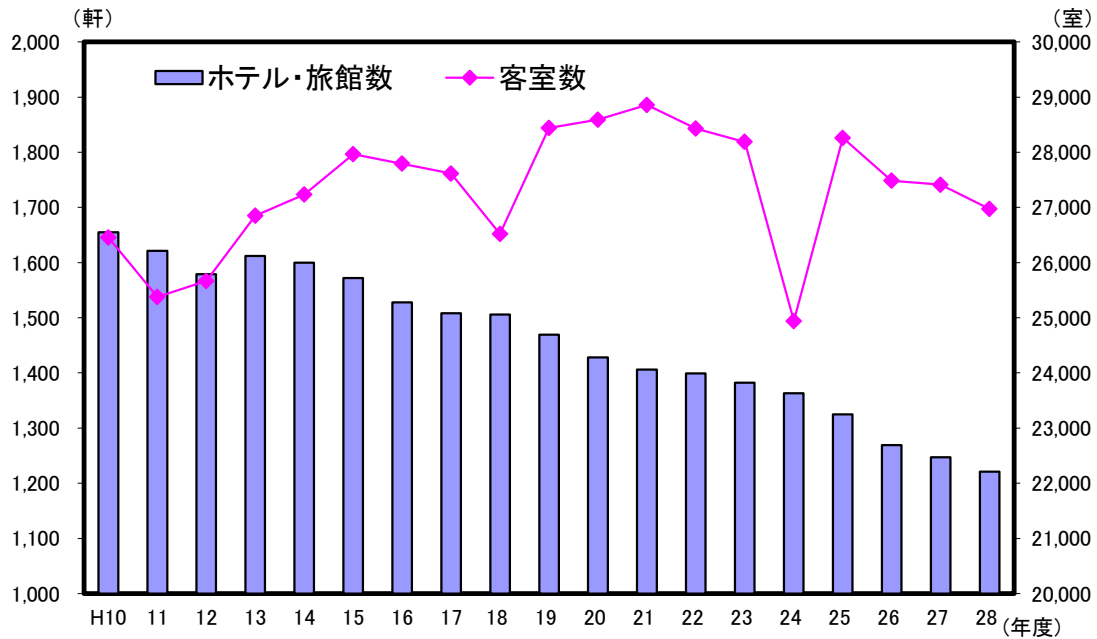


## 熊本県のホテル・旅館数と客室数の推移



### 解 説

#### 【概要】

平成10年度からの熊本県のホテル・旅館数と客室数の推移をみると、平成10年度に1,655軒あった施設数が、平成28年度には1,221軒にまで減少している。

一方、客室数は平成15年度以降減少傾向が続いていたが、平成19年度から3年連続で増加し、平成22年度から3年連続で減少した。平成25年度は増加に転じ28,261室となったが、平成26年度から3年連続で減少し、平成28年度は26,973室となった。

#### ○ホテル

客室数10室以上であり、各室の床面積は9㎡以上、寝具は洋式で、出入口及び窓は施錠可能で、適当な数の洋式浴室又はシャワー室を有すること。

#### ○旅館

客室5室以上で、和式の構造設備による各室の床面積が7㎡以上であること。

○一万人当たりホテル・旅館数  

$$\text{ホテル・旅館数} \div \text{推計人口} \times 10,000$$

#### ○温泉

地中から湧出する温水・鉱水及び水蒸気その他のガスで、摂氏25度以上の温度又は別に定める物質（19物質）のいずれか一つの基準量を満たすもの。

#### ○温泉地数

宿泊施設のある温泉地の数を計上した。

#### ○温泉湧出量

宿泊施設のある温泉地の湧出量

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2「衛生行政報告例」 厚生労働省 *3、*4「温泉利用状況」 環境省	平成28年度末 平成28年3月末	毎年 毎年